

# たんぽぽ



vol. 120

令和4年10月発行

発行者 放送大学

富山学習センター

責任者 所長 門脇 真

## 日々の「学び」を大切に

私たちは様々な形で社会と関わり、多様な学習機会を得ながら日々の生活を過ごしている。現代社会は人間関係が希薄な「無縁社会」と言われ、山積する課題を抱えている。アフターコロナへ向けての社会は、「創縁社会」の方向へ向かう流れをいかにつくるのが課題とされ、その解決策の一つとして、地域では「つながりづくり」を進める地域課題解決型の学習プログラム、学習機会が求められている。

日々の暮らしの中での「学び」というものは、人間形成であったり、社会人としての規範や生活者として必要な技術・知識を身につけたり、地域住民として「次世代へバトンを渡していく」といったような多様な「学び」が存在している。その学びを自然に身につけていくことが難しいとされる現代社会をどのように変革していくのか、そこには何か大きなリノベーションが必要とされる。

「自己の存在証明、人生の目的や意味を見出ししていく考え方に基づいて行われる教育」というホリスティック教育（Holistic Education）がある。ホリスティック教育とは、「ホリスティックなもの見方」という、たとえば、人間の「こころ」と「からだ」をつなげたものとして見る、「個人」と「社会」をつなげたものとして見るという教育である。1970年代以降に北米を中心として展開したもので、その背景には、個人を重視してきた近代の「発展」についての批判的な意識もあった。その点で、個々人の学びである「生涯学習」を考えると参考になる内容でもある。

現在、学問分野は高度化・複雑化し、専門分野も細分化されている。専門分野の細分化が進むと、その最先端の研究が、学問全体の中でも現代社会の中でも、どのような意味や役

富山学習センター客員教授 藤田 公仁子

割を担っているかを知ることは難しくなるとも言われている。その中で、放送大学は、教養教育を生涯教育として実施している教育機関とも言える。現代社会のニーズに応じていく体系的なカリキュラムを開発し、生涯学習社会の可能性に果敢に取り組んでいるのである。

「大学で学ぶ」ということの意味、学問を探究するという目的については個々人で多様であるが、「大学開放」の取り組みにより、幅広い学習者に対応することが可能になってきている。加えて、「学習」することだけでなく、学習成果を積極的に「活用」していくことも重要とされている時代である。社会参加という形で自己の達成感が高まる、あるいは、他者からの評価に結びつくことが学習のモチベーションにもつながるからである。

「学ぶ」ことで自分がよりよく変化していく学びは「自己変容学習」と言われている。また、自ら課題を見つけ、その課題を解決する力をつけていく、課題解決型の「学び」もある。それらが自己の興味関心に沿った社会的活動、たとえばボランティア等の社会貢献活動を追求することにも繋がっていくと考える。

「人生100年時代」と呼ばれるように、日本社会の長寿化は確実に進行している。健康長寿を追求し豊かな人生を送るうえでも、放送大学で学んでいる学習者は「大学と社会を結ぶ」学習実践者であり、日々の「学び」は、個々人の未来への可能性に繋がっていると期待したい。



# 令和4年度第1学期「卒業証書・学位記授与式」

9月25日(日)に富山学習センターにおいて、「卒業証書・学位記授与式」が開催されました。式には、卒業生24名のうち7名が出席され、門脇所長からお一人ずつに卒業証書・学位記が授与されました。来賓代表として富山学窓会の津本会長（米林副会長 代読）からお祝いの言葉を、卒業生代表の赤尾香菜子さんから謝辞をいただきました。

なお、富山学習センター所属の卒業生のコース内訳及び特別表彰（複数回の卒業となる方などが対象）は下記のとおりです。

皆様のご努力に敬意を表し、心からお慶び申し上げます。

ご卒業  
おめでとうございます！



## ◆ 令和4年度第1学期 教養学部卒業生

コース	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	情報	自然と環境	計	累計
人数	2	10	7	2	2	1	24	939

## ◆ 富山学習センター 特別表彰 7名

## ◆ 記念撮影



門脇所長 式辞



卒業生代表 謝辞  
赤尾香菜子さん



学窓会 米林副会長 祝辞



# 卒業生からのメッセージ

私は、高校を卒業した半年後の10月に放送大学に入学しました。私の入学当初の目標は、大学卒業資格を最短の4年でとることでした。1年生の頃、とりあえず私はたくさん単位を取りました。2年生になると少し気持ちに余裕が出てきたのでアルバイトをはじめました。3年生で卒業に必要な全ての単位を取り終え、就職について考え始めた私は、アルバイトでためたお金を活用して、新たな目標に向けた資格取得のための勉強を始めました。そして4年生、放送大学での授業は最小限に抑え、目標実現のための勉強に励んだ私は、無事、資格試験に合格することができました。1年時や2年時の頑張りや、こんな風に今の私に結びついてくるなんて、当時は思いもよらなかったでしょう。頑張ったことは巡り巡って自分のためになるのだと強く実感しました。そして私が大学卒業とは別に就職のための資格まで取ることができたのは、通信制という放送大学の特性を生かし、時間を有効に使えたからにほかなりません。

皆さんも、今できることを全力で頑張ってください。その頑張りや、未来の自分の選択肢や可能性を広げることに、きっと、つながってくるのだと思います。

(心理と教育コース：赤尾香菜子)

教養を身につけたいのと大学卒業の資格を持ちたいという思いで、身近にある放送大学に入学して13年になります。このたび4コース目となる社会と産業コースを卒業し、改めて学ぶ楽しみや喜びを感じています。この思いを多くの方と共有したくなり、友人とその息子さんや身近な人に放送大学を紹介しました。友人は「そんなに勉強して何の為になるが、アンタこそエライちゃ」というので「あなたにその気が何かないのなら息子さんにどう？交友も広がるかもしれない」と勧めてみました。身近な人は私に難しい専門用語を尋ねてきたので「分からない」と答えると残念そうな眼差しでした。いつもスマホを手放さない方なので「スマホで調べれば」と答えたい思いになりました。放送大学での学びには、スマホでは得られない大切なものがあることを伝えたいと思います。学びに関して夫は大変良いことだと理解してくれるので感謝しています。後は自分自身が実のある物としていくよう、心掛けることだと思っています。

(社会と産業コース：得永幸美)

私が放送大学に出会ったのは、定年退職し、第2の人生を如何に送るかを模索していた時でした。友達が放送大学に在籍していたこと、富山学習センターが家から近かったことも一因でした。最初は軽い気持ちで、選科履修生として出発しました。そのうち、経済的な理由により全科履修生に移行しました。最初は専攻コースを考えず、関心がある教科名や講師から受講科目を選んでいました。

学習する中で、私の自然観や世界観を揺るがす教科に出会いました。ハッブルによる宇宙膨張、太陽系を含む大きな宇宙はビッグバンに始まり、138億年たった今も膨張し続けていて、宇宙といえども永久不変でないことを知りました。私は天文学や地学に関する科目を系統的に学習したくなり「自然と環境コース」を専攻としました。生物の教科の学習では、DNAの二重らせん構造の発見を知り、生命を考える上で、この大きな発見は生物の見方に革命を起こしたことを学びました。科学は日進月歩しており、今も私の知的好奇心を揺さぶっています。

今回、「自然と環境コース」を卒業しましたが、後期より「心理と教育コース」に再入学しました。私は、心理学は科学ではないと思っていましたが、『心理学の過去は長いが歴史は短い』と、心理学は新しい学問であると聞き、関心を持ちました。「心理と教育コース」の学習でどんな知的な出会いがあるか、楽しみにしています。(自然と環境コース：津本 孝)



# 富山学習センター 開設 30 周年記念講演会

## 富山学習センター 開設 30 周年記念講演会

- 1 日時 令和 4 年 10 月 10 日（月・祝） 午後 1 時 30 分～4 時 30 分
- 2 場所 アイザック小杉文化ホール ラポール ひびきホール
- 3 内容  
第一部 ハッピーエイジング  
1 講演 I 佐藤 信紘 順天堂大学名誉教授  
「不確実な時代をいかに生きるか 生命のメカニズムから考える」  
2 挨拶・祝辞 岩永 雅也 放送大学長、新田 八朗 富山県知事  
齋藤 滋 富山大学長、下山 勲 富山県立大学長  
第二部 データサイエンスを社会・経済に活かす  
3 講演 II 唐渡 広志 富山大学教授  
「大学における学生及び社会人に対する  
データサイエンス教育・研究についての取り組み」  
4 講演 III 成瀬 喜則 富山大学教授  
「学校における ICT 活用教育の支援と探究的な学習の促進」

富山学習センターは、1992 年開設されてから今年 2022 年に 30 周年を迎え、これを記念した講演会を上記のプログラムのとおり開催しました。第一部では、佐藤信紘先生から、生命体の本質から老いを理解することが大切であり、幸せな老後の生き方につながるという学術的な講話を、第二部では、唐渡広志先生、成瀬喜則先生から、データサイエンスを実社会で活かすための、具体的な取組や実践に関わる講話を頂きました。放送大学生や一般参加者など 86 名の方々が熱心に耳を傾け、講話後に活気のある質疑応答も交わされるなど、とても有意義で貴重な時間となりました。



また、岩永雅也 放送大学長、新田八朗 富山県知事（荻布佳子教育長 代読）、齋藤滋 富山大学長、下山勲 富山県立大学長（石黒雄一事務局長 代読）から挨拶・祝辞を賜りました。ご多用の中、ご講演くださった講師の先生方、ご来場くださった来賓の皆様にご心より感謝申し上げます。



講演 I 佐藤 信紘 先生



荻布佳子 教育長 祝辞



岩永雅也 放送大学長 挨拶



# 学習センターの集い

富山学窓会主催の富山学習センターの集いを9月18日(日)に行いました。開会式に続いて、第1部は講演会 演題『激動するユーラシア：ロシアのウクライナ侵攻の影響を考える』講師 富山大学教授 堀江典生先生。第2部は4名の方に『私と放送大学』をテーマに、多様な学びを生き生きとプレゼンテーションして頂きました。参加者は講義室で35名、自宅のオンラインで17名の52名となり、盛り上がった学習センターの集いとなりました。



堀江典生 先生

【第1部講演会】 2月に始まったロシアのウクライナ侵攻。この戦争は現在も続いており、この先、どうなるか、さらに戦争が拡大するのか大変心配されます。ロシア研究の第一人者の堀江典生先生が資料などを駆使し、熱く、ロシアを語られました。私たちは経済制裁の効果や物価の高騰ばかりに目が行き、戦場となっているウクライナから目を反らしつつあるのではないかと。この戦争は遠い他国の話ではなく、自分たちにとって身近な戦争であるという鋭い指摘もありました。



【第2部プレゼン】 4名の方のプレゼンテーションから、その生き生きとした多様な学びに、感動を受け学ぶ意義を再考することが出来ました。4名の皆様、本当にありがとうございました。

## ◇松浦睦男さん『卒業研究へのいざない』

自ら卒業研究に取り組み、大変、貴重な経験談を話されました。皆さんにも是非、卒業研究に取り組みで欲しい。そして、卒業研究に取り組んでいくための条件や準備などについて、詳しい説明があり大変参考になりました。

## ◇米林一俊さん『数学は人生を豊かにする』

石川学習センター主催の松岡史和先生による数学の公開ゼミナールに参加。それが縁となって、継続的に個人指導を受けたり、ゼミナールが開催されるようになった。ゼミに参加するうちに、数学の面白さに魅かれていき、ゼミの先生や仲間との交流が深まって感謝しているという内容でした。



米林一俊さん



松浦睦男さん

## ◇島崎真美さん『学びから得たもの』

視覚障害というハンディがありながら学習に励み、全科履修生として6コースを全て修了(グランドスラム達成)して、「放送大学名誉学生」になられました。教材の点字化や単位認定試験では大学本部や学習センターの協力があり、ICT機器を利用するなど障害を一つ一つ解決しながら学習に取り組んできた過程を、詳しく筋道立てて話されました。「学びは人生を楽しみ、豊かにしていくものだ」と実感しているという島崎さんの話に、参加者は大変、感動して聞き入りました。



島崎真美さん

## ◇田島志郎さん『学ぶよろこび』

富山学習センターが開設された1992年に入学以来、30年間、放送大学で学び続けている。自分にとって学習センターは学習の場であり、学生同士の交流の場であった。昨今、インターネットによる学習の促進やコロナ禍によって、人と人との繋がりが希薄になっている。今後の学習センターの活性化を期待しているという発表(津本 孝 記)



田島志郎さん

# DX 学生研修

デジタルトランスフォーメーション（DX）教育と研究を行う施設として、今年3月に完成した富山県立大学のDX教育研究センターにおいて、8月5日（金）にDX学生研修を行いました。地域社会の人々の生活を支援する人材教育や高度な研究を行うDXの拠点で、富山SCの学生18名が施設見学と講話を通して最新最先端の技術に触れる大変有意義な研修になりました。



唐山所長による講話



施設見学

## ゼミ・サークル活動について

富山学習センターには、客員教授の指導のもと学生が発表や討論を行う『ゼミ』のほか、趣味や関心と同じ学生・卒業生が自主的に集まって、互いに啓発し親睦を深める『サークル』があります。

ゼミでは放送授業と異なり、特定の分野に興味がある学生が集まって、発表や討論を中心に進めていきます。ゼミでは単位修得できませんが、富山学習センター所属の学生であれば、どなたでも無料で参加できます。

◆申込方法については、事務室までお問い合わせください。

ゼミ	「心理ゼミ」…現在のところ開講は未定です。
サークル	「基礎英語勉強会 -The 寺子屋-」…現在のところ活動は未定です。 「哲学カフェ・とやま」…現在、活動しています。

## オープンセミナーの受講生募集！

日時	テーマ・講師	場所
12月10日（土） 10時30分～12時	『「こころ」と脳、身体、遺伝子』 講師：高雄 啓三 （富山大学 学術研究部 医学系教授）	富山市立図書館本館 （TOYAMA キラリ内）
12月17日（土） 13時30分～15時	『DXに向けた第一歩』 講師：春木 孝之 （客員准教授・富山大学 学術研究部 都市デザイン学系准教授）	魚津市立図書館

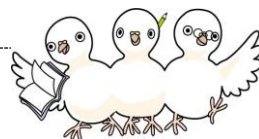
**申込方法** 「氏名と電話番号」を電話またはメールにてお知らせください。

どなたでも（放送大学生でなくても）無料で参加できます。

富山学習センター TEL 0766-56-9230 Email toyama.sc@ouj.ac.jp

※ 新型コロナウイルスの感染状況等により、変更・中止になる場合があります。

# 面接授業を追加登録してみませんか！



## ◆2022年度 2学期面接授業について

- 面接授業とは学習センター等で講師から直接指導を受ける教養学部の授業です。
- 1科目1単位です。1限90分の授業を7回、45分の授業を1回、計8回の授業を行います。授業料は1科目(8回分)あたり5,500円です。
- 他学習センターで開講の面接授業について、追加登録を希望する場合は必ず該当学習センターへ電話またはメールで申込可能かどうかを確認してください。
- Zoom 授業への変更や閉講の可能性あります。

◆**空席発表**は、10月15日(土)12時です。放送大学ホームページ及び富山学習センターで確認することができます。なお、最新の空席状況は、10月20日(木)15時からシステムWAKABAで確認することもできます。

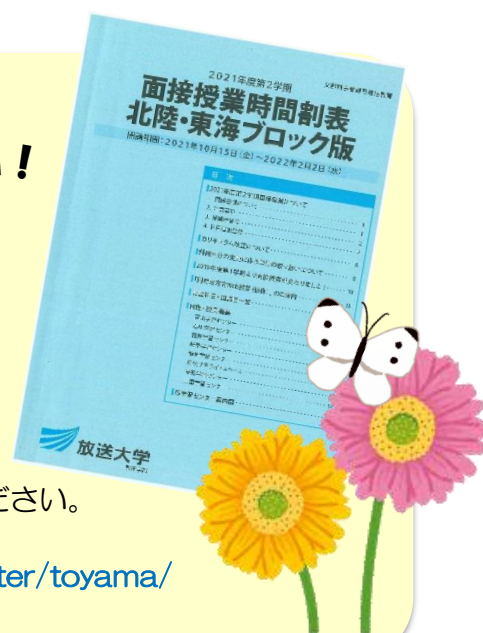
◆当センターで開設する面接授業への**追加登録**は、空席がある授業に限り 10月20日(木)10時から来所又は郵送により受け付けます。空席を上回る希望者がいた場合は、10月20日(木)10時までに当センターに来所されている方を対象に抽選を行います。それ以降は空席が埋まるまで先着順に受け付けます。なお、追加登録の締切日は、原則として開講日の1週間前となります。詳しくは次ページをご覧ください。

※郵送の場合、各科目の追加登録締切日までに、①科目追加登録申請書、②学生証のコピー(申請書に貼付)、③授業料、④返信用封筒(宛名明記、84円切手貼付)を同封し、現金書留でお送りください。ただし、直接来所の方が優先されます。

## ◆受講前に時間割(シラバス)をご確認ください！

面接授業の日程・実施時間、授業概要、8回分のテーマ、成績評価の方法などが記載されていますので、授業に臨む前に必ず一読しておいてください。特に、「受講者が当日用意するもの」は忘れずに各自で準備してください。

※ 変更等が生じる場合がございますので最新の情報にご注意ください。  
放送大学ホームページ <https://www.ouj.ac.jp/>  
富山学習センターホームページ <https://www.sc.ouj.ac.jp/center/toyama/>





# 2022年度第2学期 富山学習センター面接授業一覧

開講日	追加登録締切日	科目名	講師名	定員	科目区分
10/15(土) 10/16(日)	追加なし	建築・都市・景観と自己同一性	松政 貞治	20名	専門科目： 人間と文化
10/22(土) 10/23(日)	追加なし	貧困と社会福祉	志賀 文哉	20名	専門科目： 生活と福祉
10/29(土) 10/30(日) ※【教科書あり】	10/22	PCの基礎とWebデザイン入門	春木 孝之	15名	基盤科目
11/5(土) 11/6(日)	10/29	心理学実験3	坪見 博之	20名	専門科目： 心理と教育
11/12(土) 11/13(日)	11/5	心理学実験2	井戸 啓介	20名	専門科目： 心理と教育
11/19(土) 11/20(日)	11/12	認知行動療法	村上 千恵子	20名	専門科目： 心理と教育
11/19(土) 11/20(日)	11/12	微分不可能函数の入門	藤田 安啓	12名	専門科目： 自然と環境
11/26(土) 11/27(日)	11/19	大陸進化論と日本列島発達史	梶座 圭太郎	20名	専門科目： 自然と環境
11/26(土) 11/27(日)	11/19	薬理学の基礎	山本 武	12名	専門科目： 生活と福祉
12/3(土) 12/4(日)	11/26	ライフコースと生涯学習	藤田 公仁子	20名	基盤科目
12/3(土) 12/4(日)	11/26	日本憲法史から考える法・憲法	荒邦 啓介	12名	専門科目： 社会と産業
12/10(土) 12/11(日)	12/3	社会心理学入門	森 津多子	20名	専門科目： 心理と教育
12/17(土) 12/18(日)	12/10	生物調査に基づく環境評価	加藤 和弘	20名	専門科目： 自然と環境
12/24(土) 12/25(日)	12/17	心理検査法基礎実習	松尾 藍	20名	専門科目： 心理と教育
12/24(土) 12/25(日)	12/17	En+Joy English	Ricard.B.Curtis	12名	基盤科目： 外国語

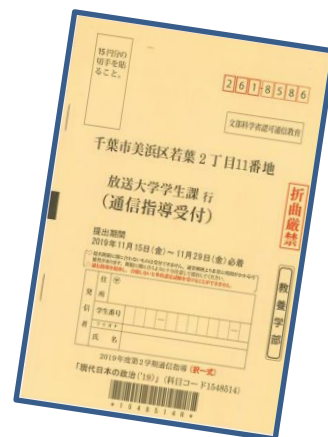
- ※ 追加登録締切日「追加なし」の科目は、日程の都合により追加登録できません。
- ※ 「貧困と社会福祉」については連続した土日ではなく、変則的な日程となっております。
- ※ 「PCの基礎とWebデザイン入門」については指定された教科書が必要です。  
必ず購入して授業に臨んでください。



## 通信指導問題は必ず提出しましょう！

### ◆ 通信指導とは

- 放送授業及び一部オンライン授業では、各学期の途中に一度、前半の一定の範囲で出題される問題を提出し、担当教員の指導を受ける必要があります。これが「通信指導」です。
- 問題は、印刷教材（テキスト）と一緒に送付されます。問題形式は、**択一式**、**記述式**、**併用式**があります。11/4（金）までに届かない場合、科目登録をした科目と異なる科目の問題が届いた場合または落丁等があった場合は大学本部（TEL:043-276-5111）にご連絡ください。  
※オンライン授業で提出方法が Web のみの場合は、冊子での問題送付はありません。
- 提出先は大学本部です。必ず期間中に到着するように提出してください。
- 通信指導に合格すると**単位認定試験の受験資格を得ることができます**（未提出あるいは期限までに提出しなかった場合は、受験できません。）。
- 出題範囲**は、概ね授業の半分です（全15回であれば前半8回程度）。



### ◆ Web 通信指導が便利です！

通信指導の提出は、一部の科目を除き、郵送によるもののほか、インターネット上で提出・解説の閲覧ができる「Web 通信指導」が利用可能です。

Web 通信指導で通信指導問題の提出（送信）を行った場合には、郵送による提出は不要です（提出されても無効となります。）。

対象科目、受講方法などについて、詳細はシステム WAKABA「キャンパスライフ→学内連絡→通信指導の提出について」をご覧ください。

#### 2022年度第2学期の通信指導提出期間

- 郵送による提出の場合  
11月15日(火)～11月29日(火) 必着
- Web 通信指導による提出の場合  
11月8日(火)10:00～11月29日(火)17:00

### ◆ WAKABA で提出状況の確認ができます！

通信指導の提出状況の確認は、システム WAKABA「教務情報→履修成績照会」画面において確認できます。

【郵送による提出の場合】大学本部での手続きが済み次第、履修成績照会画面の通信指導の欄に「受理」と表示されます。提出期限までにご提出いただいた場合、12/5頃までにすべての科目が「受理」と表示されます。問題冊子ごとに受付処理をしているため、表示される順序に差があります。

【Web による提出の場合】通信指導提出後ただちに、「Web 通信指導」のトップページ画面において、各科目の欄内に「提出済(送信済)」と表示されます。システム WAKABA の「履修成績照会」画面には、目安として提出（送信）いただいた翌日か翌々日に「受理」と表示されます。

## 2022年度 第2学期単位認定試験は Web 受験方式です！

放送大学では、新型コロナウイルスの感染拡大を契機に単位認定試験の実施方法の改善に取り組んでおり、2022年度第2学期単位認定試験についても、2022年度第1学期に引き続き、**Web 受験方式（一部科目については郵送受験方式）にて実施**します。

単位認定試験期間 2023年1月17日(火)9:00～1月25日(水)17:00

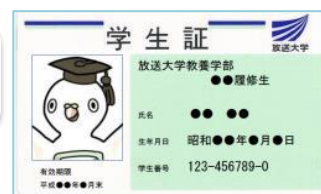
# 事務室からのお知らせ

## その1 「学生生活の栞」と「学習センター利用の手引き」について

「学生生活の栞」は大学本部から送付されます。最初にまず通読して全体を理解し、必要に応じて関係事項を参照してください。「学習センター利用の手引き」は、富山学習センターの利用時間・閉所日・交通案内・学年暦など、お役に立つ情報が記載されています（まだお手元にない方は、当学習センター受付までお申し出ください。）。

## その2 各種証明書等の交付について

### ■学生証の交付



新規・継続入学者の方は、**学期開始後早いうちに、「入学許可書」を持って当学習センターへお越しください。**有効期限切れの学生証の更新は、古い学生証と交換で新しい学生証を発行します。

なお、顔写真を登録されていない方は、写真票（「学生生活の栞（巻末）」）を早めに本部学生課にお送りください。この写真票の写真をもとに、**学生証を富山学習センターで発行し、受付でお渡しします**（本部からは送付されません）。学生証は放送大学学生であることを証明する身分証明書であり、図書室・視聴学習室の利用、**単位認定試験の受験の際に必要**ですので、必ず発行手続きを行ってください。

### ■各種証明書の交付



■**在学証明書、成績・単位修得証明書、卒業(修了)証明書、卒業(修了)見込証明書、在学期間証明書、履修証明書**の発行をご希望の方は、**最寄り学習センターの受付にて、『諸証明書交付願』**（学生生活の栞（末巻様式9））に発行手数料（1通につき200円）を添えて提出してください。

■**学力に関する証明書（教員免許状申請用証明書）**や上記以外の特殊証明書については、**所属学習センターでのみ発行いたします。**発行には**2週間程度**要するものもございますので、十分に余裕を持って請求してください。

なお、『諸証明書交付願』は「学生生活の栞（巻末様式10）」の様式をコピーして使用するか、システムWAKABA「キャンパスライフ→各種届出・申請様式」からダウンロードしてください。



郵送の場合…①～③を送付してください。

- ① 『諸証明書交付願』 必ず**連絡の取れる電話番号**をご記入ください
- ② 発行手数料 現金書留または郵便小為替（1通につき200円分）
- ③ 返信用封筒 長型3号に94円切手貼付、宛名明記

## その3 各種手続きについて

### ■休学届（全科履修生・選科履修生）



入学後のご事情（病気や転勤など）により、修学を継続できない場合には、休学することができます。

- ① 「休学願」（「学生生活の栞（末巻様式5）」）を本部へ郵送にて提出することで休学できます。なお、システムWAKABA「教務情報→変更・異動手続」でも手続きできます。
- ② 休学期間は、1学期間を単位とし、全科履修生は通算して8学期間（4年間）まで、選科履修生の場合は通算して2学期間（1年間）までです。
- ③ 休学期間中は、通信指導の再提出および単位認定試験の再試験受験ができなくなりますのでご注意ください。

- ④ 休学期間中は本部図書の出借サービスを受けることができません。
- ⑤ 休学期間が終了する際は、復学する学期の分の科目登録申請を忘れずに行ってください。

2023年度第1学期からの休学：(システムWAKABAによる申請の場合)  
2022年10月20日(木)9:00～2023年3月31日(金)24:00

## ■住所等の変更



入学後、「住所」や「電話番号」などに変更があったときは、速やかに「住所等変更届」(学生生活の葉(巻末様式4))を所属学習センターへ提出してください。またシステムWAKABA「教務情報→変更・異動手続」から変更もできます。併せて、最寄りの郵便局にも「転居届」を提出してください。住所変更の手続きが取られていない場合、「単位認定試験」等に関する重要な通知が届かない可能性があります。

## ■所属学習センターの変更



(次学期に学籍がない方及び特別聴講生は、変更できません。)

入学後のご事情(転勤など)により、所属学習センターの変更を希望されるときは、『所属学習センター変更願』(「学生生活の葉(巻末様式2)」)を本部へ提出するか、システムWAKABA「教務情報→変更・異動手続」から手続きをしてください。

学期の途中での変更はできません。(2023年度第1学期から変更する場合：10月20日～2023年2月8日までに本部必着となっています。)

### その4 単位認定試験問題及び解答・解説の公表について

単位認定試験の問題及び解答・解説は、システムWAKABA「学内リンク」(トップページ右上)→単位認定試験問題・解答等に掲載するとともに富山学習センターでも公表しています。なお、当学習センターでの閲覧はできますが、コピーはできません。また、有料で本部に郵送サービスを申し込むこともできます。公表期間は、公表開始後1年間です。従って、過去2回分が公表の対象になっています(「学生生活の葉」76ページ参照)。

### その5 学習相談のお知らせ

当センターでは、所長・客員教員が皆さんの学習上の様々な相談に応じています。卒業研究、大学院進学、履修計画などでお悩みの方など、どなたでもお気軽にご利用ください。「**学習相談希望**」の旨、**学習センターにご連絡**いただければ、「学習相談申請書」をお送りします(申請書はホームページからダウンロードもできます)。申請書受理後、所長・客員教員と日程調整を行い、学習相談の日時をご連絡します。詳しくは富山学習センターホームページ(スケジュール・授業案内→学習相談一覧)をご覧ください。

### その6 職員の異動について

〈新任〉令和4年10月1日付	〈退任〉令和4年9月30日付
事務職員：平田 暁子	事務職員：藤田 歩美



# 10月～1月のスケジュール

青字…面接授業、  
オープンセミナーなど  
赤字…重要な期日

【重要】新型コロナウイルス感染症対応のためスケジュールが変更される場合があります。随時、ホームページ(大学本部、富山学習センター)などで確認をお願い致します。

## ◆10月

- 1 第2学期放送授業開始
- 1 **2023年度大学院全科生入学者第1次選考**
- 5 第2学期オンライン授業開始
- 10 富山SC開設30周年記念講演会
- 15 第2学期面接授業 空席発表
- 15・16 面接授業
- 20 第2学期 面接授業 追加登録受付開始(10時)
- 22・23 面接授業
- 29・30 面接授業

## ◆11月

- 1 第2学期 同時双方向Web授業開始
- 2 学窓会 東海北陸ブロック会議
- 5・6 面接授業
- 8 通信指導提出開始<WEB>(～11/29 17時)
- 12・13 面接授業
- 15 通信指導提出開始<郵送>(～11/29)
- 19・20 面接授業
- 26・27 面接授業
- 29 通信指導提出締切

## ◆12月

- 3・4 面接授業
- 10 オープンセミナー(高雄先生)
- 10・11 面接授業
- 17 オープンセミナー(春木先生)
- 17・18 面接授業
- 24・25 面接授業

## ◆2023年1月

- 17～25 単位認定試験  
(試験問題を閲覧、解答できる期間)
- 25 答案提出期限(消印有効)

富山学習センター ☎ 0766-56-9230  
<開所時間>

- ・通常期間(火～日曜) 9:00～17:30  
(図書室・視聴学習室利用時間 9:00～17:15)

10月						
月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

11月						
月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

12月						
月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2023年 1月						
月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

閉所日【月曜、祝日、臨時閉所日】